



大学共同利用機関法人

# KEK 高エネルギー加速器研究機構

## 技術職員募集 2020年4月採用予定（計5名）

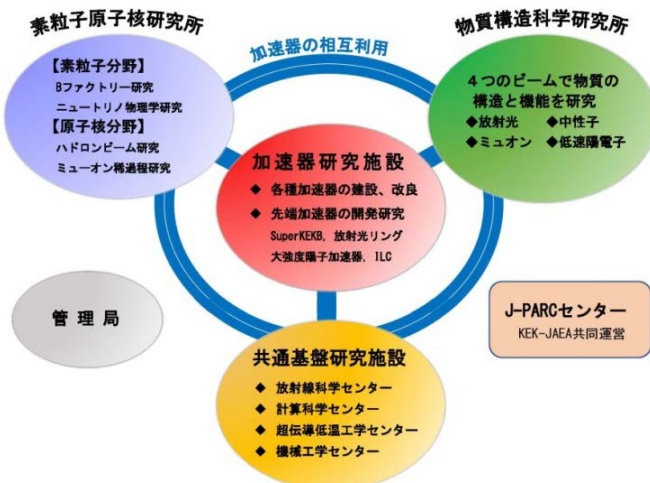
配属先予定

素粒子原子核研究所、物質構造科学研究所、加速器研究施設、共通基盤研究施設

高エネルギー加速器研究機構は世界の研究者の為の共同利用施設として、個々の大学では維持が困難な大型加速器の建設・運転を担い、研究者・大学間で情報を有効に共有するための環境を提供し、物理学や科学研究の中心としての役割を果たすための拠点として設置された共同利用機関です。

- 1971年 高エネルギー物理学研究所（現在の高エネルギー加速器研究機構の前身）設置
- 1977年 12GeV陽子シンクロトロン共同利用実験開始（5月）
- 1983年 フォトンファクトリーの共同利用実験開始（6月）
- 1987年 トリスタンの共同利用実験開始（5月）
- 2004年 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構発足（4月）
- 2008年 小林誠特別栄誉教授 ノーベル物理学賞受賞
- 2009年 日本原子力研究開発機構と共同建設のJ-PARC完成（3月）
- 2009年 長基線ニュートリノ振動実験（T2K）開始（4月）
- 2011年 Super KEKB（スーパーケックビー）のプロジェクト開始（11月）
- 2018年 Belle II 測定器で初衝突の観測（4月26日 午前0時38分）

### 機構を構成する研究所・研究施設



各職場の職員数 平成30年4月1日現在

素粒子原子核研究所

教員：121名、技術職員：25名

物質構造科学研究所

教員：50名、技術職員：22名

加速器研究施設

教員：153名、技術職員：59名

共通基盤研究施設

教員：40名、技術職員：33名

管理局：167名

## ◆◆◆ 職務内容 ◆◆◆

高エネルギー加速器研究機構の技術スタッフは、加速器を用いた素粒子・原子核実験・物質構造科学実験に関する研究や加速器の性能向上に関係する研究を技術的側面からサポートする職務を担っています。特に本機構は日本の加速器科学研究の拠点であり、電子・陽電子衝突型加速器、放射光発生用加速器、電子線形加速器、大強度陽子加速器などの大型加速器の開発・運転を行うことを本務としており、その中で技術スタッフは、加速器装置の機械・電気設計、制御装置の開発、運転などを担当すると同時に世界各地との加速器科学の技術発展のための交流活動を行っています。

さらに本機構は大学共同利用機関としての役割を担っています。これは個別の大学では設置出来ない大型の加速器を用いた物理実験や物質の構造・機能に関する物性研究の場を世界に提供するため、本機構の技術スタッフは実験に用いる検出器を設計製作したり、大量のデータを収集・解析するシステムの開発やスーパーコンピュータなどの最先端装置を管理していく業務を行っています。

技術スタッフは、技術開発の段階で解析コードを用いて構造・強度解析を行います。40トンもある大型電磁石が完成すれば、それを設置するためのクレーン操作、数百mに及び精密な測量も行います。

大型加速器や加速器を用いた最先端科学の実験に携わることに興味を持ったら、ぜひトライして下さい。

## ◆◆◆ 先輩技術職員の声 ◆◆◆

素粒子原子核研究所に所属している9年目の女子技術職員です。現在、私は陽子ビームの大強度化に向けた準備として、陽子ビームを輸送する真空ラインをつなぐための装置や実験で用いる素粒子を生成するための標的装置の開発などを行っています。

技術職員が設計、製作を行うのは当たり前ですが、それを実際の現場に設置するという作業も行います。私は実験室での作業が好きなので、普段から男性達と一緒に現場で力仕事をしています。そこでは女子ならではの細かな作業を心掛けています。

私がフォークリフトや大型クレーンを運転していることに気づくと、女の人がやっているとすごく驚かれることが多いです。その反面、格好良いと稀に言われることもあって嬉しいです。ここでは女性でも男性と変わらず同じように現場に出て働ける環境です。言い換えると、女性でも自分で何でもやらなければなりません。でもさすがに20,30kgの物を運ぶ時には力に自信のある人の手を借りますが、気軽に手伝ってくれる優しい人達がたくさんいます。

仕事と私生活のメリハリもしっかりしているので、私は仕事が終わってからテニスに力を注いでいます。有休も取得しやすく、家庭と仕事の両立も問題もなく出来ています。周りの先輩達も家庭を大事にする人達が多く、私も家庭を大切にしながらこれからも研究所で働いていきます。



KEKBの制御グループに所属する7年目の職員です。制御グループでは約3kmの加速器を構成する多種多様な機器を統一的に制御・監視することを目的にしており、私は制御に必要な電子回路やプログラムの開発を行っています。始めは加速器のことはほとんど分かりませんでしたが、数ヶ月間に渡って行われた初任者研修や実際の作業などを通して少しずつ理解できるようになってきました。まだまだ勉強しなければならないことはありますが、周囲の方々がどんな些細な質問にも丁寧に答えてくださるので安心していきます。KEKBの研修プログラムには、入所してからすぐに行われる初任者研修の他にも英語研修や、技術研究会・技術交流会など様々なものがあり、職員が学習することができる環境が用意されています。

「興味はあるけど加速器のことなんて全く知らない」って人も、入所して少しずつ加速器を学び、自分の能力を発揮させてみませんか。

計算科学センターに所属して9年目の技術職員です。実験グループのデータの蓄積・解析を行うための計算機システムの管理、世界各地の計算センターが協調して処理を行うことで世界規模のデータ解析を可能にするグリッド・クラウドシステム関連の研究開発に携わっています。私はグリッド関連のアプリケーション開発や、大規模クラウドサービスを運用するスイス研究機関での一年間の派遣研修を経験してきました。さらに、業務成果を発信するため論文執筆や国際会議等で発表も行いながら、日々成長を続けています。配属当初は、現在の業務についての知識はほとんど無く戸惑いもありましたが、先輩方の優しいサポートや、実際に手を動かして汗をかきながら業務を進めていった結果、ついていけるようになりました。

自宅で栽培した野菜をおすそ分けしてくれる方がいたり、仕事の合間にみんなでお茶休憩したりといった事もある温かくほのぼのとした過ごしやすい職場です。



## ◆◆◆ つくばキャンパス、東海キャンパス ◆◆◆

### ○つくばキャンパス

- つくばエクスプレス  
つくば駅下車後つくばセンターから路線バス  
(所要時間約20分)
- JR常磐線  
土浦駅、荒川沖駅またはひたち野うしく駅より  
路線バス (各駅から所要時間約45分)
- 常磐高速バスつくば号 (東京駅八重洲南口発)  
つくばセンター下車後路線バス  
(東京駅から所要時間約80分)
- 常磐自動車道 桜土浦IC  
(ICから所要時間約30分)

### ○東海キャンパス

- JR常磐線 上野駅～東海駅 約90分 (特急)
- JR常磐線 いわき駅～東海駅 約60分 (特急)
- JR東海駅東口から  
朝4便、夕5便、出退勤用のバスが運行されます。  
(約3 km 約10分)

詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.kek.jp/ja/Access/>



## ◆◆◆ 過去5年間の採用実績 ◆◆◆

### 採用人数

年度	女性	男性	計
2015	1	2	3
2016	2	3	5
2017	0	5	5
2018	1	1	2
2019	1	3	4
計	5	14	19
	26.3%	73.7%	

### キャリア

年度	社会人からの採用	新卒採用	計
2015	2	1	3
2016	3	2	5
2017	2	3	5
2018	1	1	2
2019	3	1	4
計	11	8	19
	57.9%	42.1%	

### 採用方法

年度	国大協試験	独自採用試験	計
2015	1	2	3
2016	2	3	5
2017	4	1	5
2018	1	1	2
2019	0	4	4
計	8	11	19
	42.1%	57.9%	

### 最終学歴

年度	4年制大学 および大学院	高等専門学校 および専攻科	計
2015	3	0	3
2016	3	2	5
2017	4	1	5
2018	2	0	2
2019	4	0	4
計	16	3	19
	84.2%	15.8%	

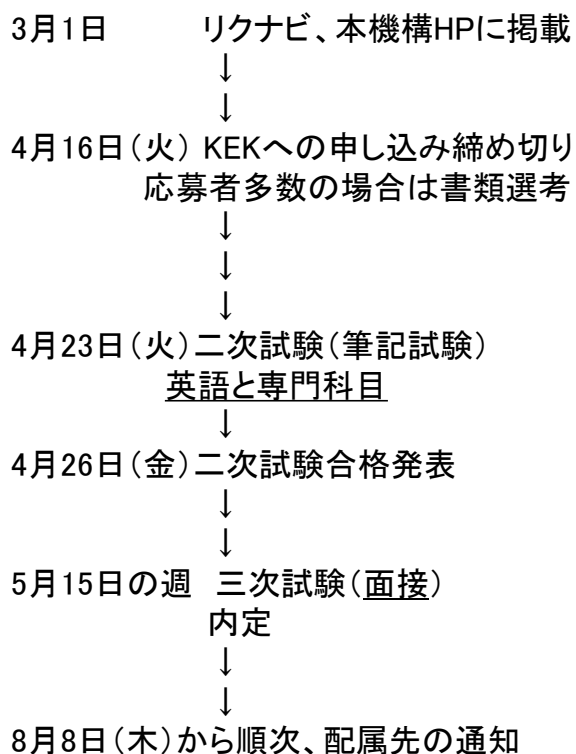
## 2019年度 高エネルギー加速器研究機構 技術職員採用試験日程

募集分野は、物理、機械、電気、電子・情報、化学です

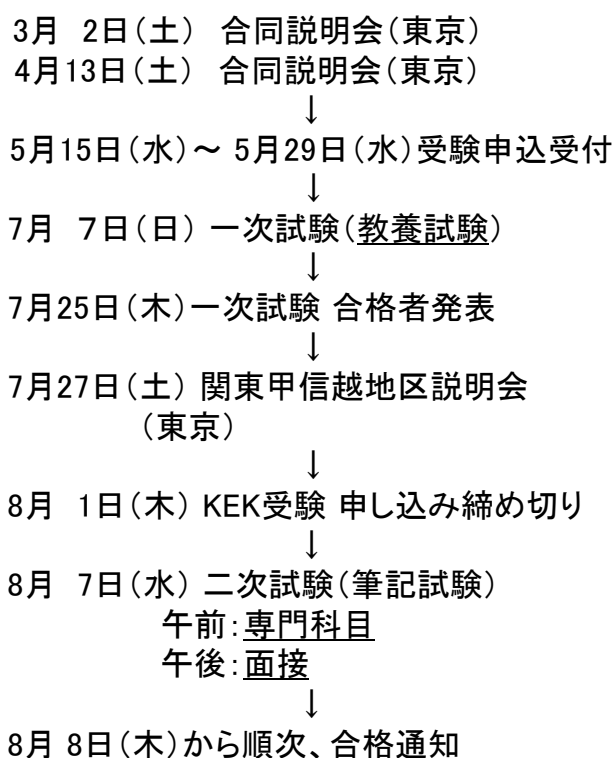
採用数は、計5名を予定しています

※ 詳細は、機構HPに掲載中の公募要綱で確認してください ※

### 高エネルギー加速器研究機構 独自採用試験



### 国立大学法人等職員採用試験 合格者からの採用



リクナビに、本機構の職員採用ページを開設しています。下記サイトでお待ちしています。

<https://job.rikunabi.com/2020/company/r786412043/>

採用説明会、処遇、研修制度、福利厚生等の詳細は、機構ホームページをご覧ください。

<https://www.kek.jp/ja/Jobs/c03/>



問合せ先:

・職務内容について

素粒子原子核研究所 技術調整役 山野井 豊

TEL : 029-864-5430、Eメール : yutaka.yamanoi@kek.jp

・提出書類について

総務部人事労務課 人事第二係

TEL : 029-864-5117、Eメール : jinji2@ml.post.kek.jp